



守ろう！肝臓

早期発見！
早期治療！

肝炎ウイルス検診はお済みですか？

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、症状に気づいたときには病気がかなり進んでいることが少なくありません。

そのため、これまで一度も肝炎ウイルス検査を受けたことがない人は、できるだけ早期に検診を受けることが望ましいとされています。

肝炎ウイルス検診では、採血によってB型・C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べます。

肝炎ウイルスにはどのような害があるの？

B型・C型肝炎ウイルスは、感染が長く続くと肝硬変や肝がんにつながる恐れがあります。

感染していても症状が出にくく、気づかないことも少なくありません。

だからこそ、早期発見、早期治療が大切です。



40歳の人（S61.4.2～S62.4.1 生）が対象です。

41歳以上で検査をしたことがない人も、申し込むと受けることができます。

からだの健康は お口から

🦷 口の不調をそのままにすると、どうなるの？

「痛くないから大丈夫」と、むし歯や歯周病をそのままにいませんか？

歯周病は自覚症状が少ないまま進む慢性の病気で、進行すると歯を支える骨が溶け、歯を失う原因になります。

近年、歯周病による炎症は口の中だけでなく、血液を通じて全身にも影響するといわれています。糖尿病のある人は歯周病が悪化しやすく、歯周病治療で血糖値の改善がみられたという報告もあります。

また、高血圧や動脈硬化との関連も指摘されています。

さらに、骨密度が低下すると歯を支える骨も弱くなり、歯を失うリスクが高まります。

口は「からだ」の入り口です。小さな変化を見逃さないことが将来の大きな病気の予防につながります。

健（検）診とあわせて、歯科健診も定期的に受けましょう。



印西市では、20歳・25歳・30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の人に口腔疾患健診（16ページ）を行っています